

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392800039
事業所名	グループホーム向陽

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ホームの理念は「本人の意思と家族の思いを十分に尊重する施設」として自由に地域に出かけられる要望の支援を管理者と職員全員で実践している。理念の勉強会を実施後、「初心に振り返り理解が深まった」との報告者を管理者は手にしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 町内会の盆踊りにはホームから景品を出して協賛している。市の花屋さん達の声かけで毎年継続しているハロウィンウオークで仮想した子供達に合言葉で飴を渡す事が楽しみになっている。ホームの秋祭りには近隣の家にポストインで招待をしている。チンドンや和太鼓等の催し物、チケット配布で屋台形式の食べ物を利用者と一緒楽しんで頂いている。スーパーやドラッグストアへは自由に出かけている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 地域包括支援センター・グループホーム協議会の会議や勉強会に参加している。運営推進会議に包括支援センターもしくは高齢介護課からの参加あり、相談をしたり情報を頂いたり協力関係を築いている。介護相談員の受け入れがあり利用者やホームの相談役として風通し良くなっている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 本人・家族の意見や思いを表せる運営推進会議の機会を大切にトラスサービスの改善・向上に繋げている。面会は何時でも可能であるが防犯上夜は施錠する運営方針で19時に玄関は施錠を実施している。玄関施錠については運営推進会議に運営の理念は変わらない事・社会状況を説明して家族の理解を得ている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	×	○	×	○	○	○	○	○	○	